

# 平成29年度事業報告

---

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日



社会福祉  
法 人

瀬戸内市社会福祉協議会

## ○ 福祉総務（邑久本所・牛窓支所・長船支所）

### 1. 地域福祉活動推進事業

#### （1）地域福祉活動等支援事業

##### ① 福祉委員（制度）

小地域の福祉力の維持・向上を図ることを目的に、ふれあいサロンなど地域福祉活動への参加及び運営協力、社協広報誌の配布等を通じた見守り活動、社協会費・共同募金運動の協力など、市社協・地区社協と連携・協働を呼びかけた。

##### ■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合計
平成29年	71名	210名	141名	422名
平成28年	71名	212名	144名	427名

##### ■福祉委員だよりの発行

2ヶ月に1回（せとうち社協通信と同時）発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

##### ② ふれあいサロン事業

身近な小地域の中で、住民同士が交流し、健康づくり・仲間づくり等をしていく支援を行った。

地区名		実施サロン数 平成29年	延べ参加者数 平成29年度	実施サロン数 平成28年	延べ参加者数 平成28年度
牛窓町	牛窓地区	5	911	7	1,075
	鹿忍地区	9	1241	9	1,473
	長浜地区	5	1586	5	1,833
邑久町	邑久地区	8	1018	9	984
	福田地区	5	792	5	797
	今城地区	4	504	4	471
	豊原地区	6	558	6	594
	本庄地区	0	0	0	0
	笠加地区	1	325	1	327
	玉津地区	0	0	0	0
	裳掛地区	4	302	4	524
長船町	美和地区	6	928	6 (1)	894
	国府地区	7 (1)	1281	6	1,547
	行幸地区	12	4578	12	4,910
瀬戸内市全体		1	346	1	299
合計		68 (1)	14370	75 (2)	15,728

※( )は内新規設置サロン数

※子育てサロン：4カ所（邑久地区：1ヶ所、福田地区：1ヶ所、行幸地区：1ヶ所

瀬戸内市全体：1ヶ所)

月 日	主 な 内 容
平成29年 6月2日(金)	第1回：レクリエーション講座・情報交換会
11月22日(水)	第2回：バルーン講座・情報交換会
平成30年 2月16日(金)	第3回：補助金について説明等 開催場所：ゆめトピア長船

## ③ 地区社協及び小地域福祉活動推進支援事業

地域の様々な福祉的課題を共有及び解決するために、市社協が地区社協等で行われる地域課題に対応した柔軟な福祉活動を支援し、誰もが住みよい地域づくりの推進に寄与した。

(1) 当該地区の会費実績40%及び共同募金実績の10%を地区社協運営費として助成

(2) 地区社協ごとに担当職員を置き、小地域ケア会議の開催支援等

牛窓地区、鹿忍地区 長浜地区（浜区限定）

邑久地区、福田地区 今城地区、豊原地区、本庄地区、笠加地区、玉津地区、  
裳掛地区 美和地区

(12地区/14地区中)

(3) 地区社協会長会議の開催

平成29年11月27日(月)に開催。地区社協の現状と課題について情報交換を行い、地区社協活動の今後の目標について議論した。

## ④ ボランティア団体・個人の支援事業

市内ボランティアの活性化を目的に、瀬戸内市ボランティア連絡協議会の定期開催等、ボランティア同士の交流や情報交換の場づくりを中心に事業推進を行った。

## 瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会等実施状況

月 日	主 な 内 容
平成29年 4月20日(木)	第1回定例会：規約・事業計画・予算等について
6月15日(木)	第2回定例会：せとうち保健福祉フェスタの出展内容について NPO法人設立について
8月17日(木)	第3回定例会：瀬戸内市総合防災訓練について 他
9月3日(日)	瀬戸内市総合防災訓練に参加
10月19日(木)	第4回定例会：せとうち保健福祉フェスタのパネル展示の作成他
11月18日(土)	瀬戸内保健福祉フェスタへボランティア活動紹介パネル展示
12月7日(木)	平成29年度研修：NPO法人かさおか島づくり海社
平成30年 2月15日(木)	第5回定例会：「かさおか島づくり海社」研修報告 平成30年度事業計画について

※瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会…偶数月第3木曜日、13：30～15：00

⑤ 夏のボランティア体験事業

市内の中高校生等を対象とした夏休み期間を利用したのボランティア体験事業を行った。福祉関係の団体・施設を中心に様々なボランティア体験を通じて福祉の心を育む機会を提供した。

平成29年度参加中学校・高等学校・大学 ( ) 内は平成28年度実績

学 校 名			
牛窓中学校	29名 ( 47名)	和気閑谷高等学校	1名 ( 1名)
邑久中学校	172名 (115名)	西大寺高等学校	3名 ( 3名)
長船中学校	53名 ( 5名)	岡山学芸館高校	1名 ( 2名)
清心中学校	0名 ( 1名)	就実高校	1名 ( 1名)
備前緑陽高等学校	2名 ( 9名)	邑久高等学校	19名 (19名)
岡山一宮高校	1名 ( 0名)	大学 (3校)	4名 ( 0名)
合計：14校 参加人数：286名 (合計：10校 (参加人数：203名))			

平成29年度夏ボラ受入団体・施設 ( ) 内は平成28年度実績

種 別	名 称	
高齢者 障害者施設	あじさいのおか牛窓 デイサービスあじさい グレースケアあじさい 長船荘デイサービスセンター 株式会社 MaCO まごのて村 楽々園 特別養護老人ホームせとうち	グループホーム邑久幸ホーム せとうち旭川荘 グループホーム星の家 地域生活支援センタースマイル デイサービスうらら 錦海荘
幼稚園 児童施設	牛窓ルンビニ保育園 あいあい保育園 邑久保育園 福田保育園 今城保育園	長船東保育園 長船西保育園 長船ちとせ保育園 学童保育今城っ子クラブ 裳掛児童館
その他	瀬戸内市中央公民館 福岡古民家プロジェクト 瀬戸内市民病院	瀬戸内市邑久スポーツ公園 ちまち・どんどん 長船町公民館
合計：29ヶ所		(合計：23ヶ所)

⑥ 各種福祉団体及び当事者団体等支援

当事者団体の自立した運営体制の確立ができるよう側面から支援を行った。

(瀬戸内市老人クラブ連合会) 自立した運営体制の確立	本会としての支援の方向性及び内容を検討し、瀬戸内市老人クラブ連合会事務局機能の強化を図った。
福祉課題への積極的な取り組み	市老連活動として、介護予防等諸課題へ積極的に本会（地域包括等）と連携・協働し取り組みを推進した。

⑦ 福祉協力校との連携及び協働

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるよう支援した。

助成金額（保育園・児童館・幼稚園：各2万円、小・中・高等学校：各3万円）

※平成30年3月末現在

牛窓町	・保育園：ルンビニ・あいあい (2ヶ所) ・幼稚園：牛窓東 (1ヶ所) ・小学校：牛窓東・牛窓西・牛窓北 (3ヶ所) ・中学校：牛窓中 (1ヶ所)
邑久町	・児童館：裳掛 (1ヶ所) ・保育園：邑久・福田・今城 (3ヶ所) ・幼稚園：邑久・今城 (2ヶ所) ・小学校：邑久・今城・裳掛 (3ヶ所) ・中学校：邑久中 (1ヶ所) ・高等学校：邑久高校 (1ヶ所)
長船町	・保育園：長船東・長船西・長船ちとせ (3ヶ所) ・幼稚園：美和・国府・行幸 (3ヶ所) ・小学校：美和・国府・行幸 (3ヶ所) ・中学校：長船中 (1ヶ所)

⑧ 見守り体制支援事業

※平成30年3月末現在

あんしんカプセルの配布	2,970個
-------------	--------

⑨ 日常生活用具貸出事業

緊急かつ一時的な車いす等日常生活用具の必要ニーズを満たすことを目的に、事業を実施した。

■車いす貸出し台数【出前講座含む】(単位：台)

合 計	
平成29年度	平成28年度
52	47

(2) 地域生活支援事業（※受託事業：①～③）

① 日常生活自立支援事業（岡山県社協からの受託事業）

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、生活支援員の協力を得て、福祉サービスの利用や日常生活に必要な金銭の管理を行った。

平成29年度の利用状況（単位：人）

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	2	6	2	10
支援員	2	3	1	6

② 生活福祉資金貸付事業（岡山県社協からの受託事業）

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。「瀬戸内市生活相談支援センター」と積極的に連携し、相談業務を行った。

平成29年度		牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	生活	0	0	0	0
	離職	0	0	0	
償還期間中	生活	6	3	9	21
	離職	1	0	2	
合計		7	3	11	21

平成29年度相談件数13件

③ 地域型福祉学習事業（岡山県社協からの受託事業）

◇夏休み子どもふれあい広場

1. 事業の背景

昨年に続き県社協からの補助金等を活用し、日頃団らんやふれあいが少ない子どもにふれあいの機会を設けることを目的として、「夏休み子どもふれあい広場」を6日間開催した。開催にあたっては、助成元の県社協職員や食事や遊びに協力してくださるボランティアの方々と目的や運営方法などについて協議を重ねた。

また、今回の事業のねらいとして、若い世代への社協のPR効果も期待した。社協の事業内容は子どもや子育て世代を対象としたものが少ないため、高齢者世代と比べて社協の認知度も低いと推察される。今回の事業を通して社協の場所や活動内容などを少しでも知ってもらい、次の世代の協力者を増やしていきたいと考える。

2. 事業内容

・時間割り【全日共通】

- 9：30頃から 受付開始
- 10：00～11：00 大会議室で夏休みの宿題をする
- 11：00～12：30 一緒にお昼ご飯を（作って）食べる
- 12：30～15：00 いろいろな遊びをして過ごす

【第1回】 平成29年7月27日（木）

- ・昼食メニュー：焼きそば、お味噌汁、デザート
- ・午後からの遊び：ニュースポーツ 等
- ・参加人数：子ども34人

【第2回】 平成29年7月31日（月）

- ・昼食メニュー：みんなで作るサンドイッチ、白玉団子
- ・午後からの遊び：ニュースポーツ 等
- ・参加人数：子ども38人

【第3回】 平成29年8月7日（月）

- ・メニュー：ハヤシライス、フルーチェ
- ・午後からの遊び：紙芝居、映画会 等
- ・参加人数：子ども22人

▼活動写真▼



【第4回】 平成29年8月16日（月）

- ・メニュー：カレーライス、サラダ、フルーツ寒天
- ・午後からの遊び：マジック、講師を呼んで体操遊び 等
- ・参加人数：子ども23人

【第5回】 平成29年8月21日（月）

- ・メニュー：ハンバーグ、サラダ
- ・午後からの遊び：ボランティア講師を呼んで木工遊び等
- ・参加人数：子ども31人

【第6回】 平成29年8月28日（月）

- ・メニュー：みんなで作るおにぎり、そうめん、ゼリー
- ・午後からの遊び：昔遊び、ビンゴゲーム 等
- ・参加人数：子ども26人



3. 課題、改善点等

- ・広報の方法（全体に情報が行きわたる前にSNS等で一部の保護者間に拡散された）
- ・保護者からのニーズがとても高いことは実感できたが、昼食等の準備に時間と人手がかかる。
- ・ふれあいの場を本当に必要としている子どもにどうやって参加してもらうか。
- ・参加回数に制限を設けた方が、幅広く子どもたちが参加できるのではないかと（6回全日程参加する子が多く予約がすぐに埋まり、申し込みをお断りすることが何度かあった）
- ・室内の2部屋のみでの開催だったので、廊下を走り回る子が多く少し危険だった。自由遊びの時の場所と内容は、要検討事項。
- ・保護者からは「初めて福祉センターに来た。」「初めて2階に上がった。」という声を多くもらい、社協を知ってもらうきっかけづくりに繋がった。
- ・ふれあいの場を必要としている子どもに参加してもらったのかどうか、内容について様々なご意見をいただいたが、開催を通して親が安心して子どもを遊ばせる場所が少なくなっていることを知ることができたことは、今後開催する場合のヒントとなった。
- ・昼食の段取りや遊びの内容の見直しなど課題は多いが、若い子育て世代に社協を知ってもらい足を運んでいただけたこと、また送迎に來られる保護者の方から「こういう事業をしてけるととても助かります」「子どもが人見知りなので、ここで友達が作れたらいいなと思います」などふれあい広場に参加したい、参加して良かったという声を多くいただいたことは大きな成果だと感じる。そして何より、ふれあい広場を通じて今まで社協と関わりが少なかった子育て世代や子ども達の置かれている現状やニーズを少しでも知る事ができたことは、これからの地域福祉を考えるうえで大変有意義だったと感じる。

④ 法人後見事業

市民後見人と共に成年後見人等に就任し、認知症高齢者や知的・精神障害者等の財産管理・身上監護業務を行った。

■受任状況

（単位：人）

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	0(3)	1(2)	0(1)	0(1)	1(7)

（ ）内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

## 2. 総務企画・広報等事業

### (1) 総務

#### ① 法人運営

#### ② 社協バス運行管理

社協バスを有効に活用することにより、各種団体活動の活性化及び円滑な団体運営を図り、市内外福祉施設への視察で運行した。

	サロン	団体	地区社協	社協事業	市行政	合計
平成29年度	45	17	13	1	2	78
平成28年度	50	17	12	1	1	81

#### ③ 社協会員会費

社協らしい活動がさらに求められており、会員会費の募集を通じて市民・法人に理解を求めた。

平成29年度実績	(普通) 9,204,000円	(特別) 1,300,000円	合計 10,504,000円
平成28年度実績	(普通) 9,332,000円	(特別) 1,200,000円	合計 10,532,000円

### (2) 福祉講座・イベント運営事業

#### ① 地域福祉出張支援講座

月日	学校名	内容	
10月3日(火)	邑久小学校	車椅子体験	職員による出前講座
10月5日(木)	邑久小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
10月16日(月)	牛窓東小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
11月17日(金)	牛窓西小学校	高齢者疑似体験・車いす体験	職員による出前講座

### (3) 広報活動事業

#### ① 広報誌発行事業

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため年6回偶数月に発行した。

### (4) 共同募金事業

#### ① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

今年度も10月1日から12月31日まで、共同募金運営委員を中心に各イベントや街頭での募金活動を実施した。市内に広く周知し、募金協力員(福祉委員・行政委員等)に協力を頂き、戸別募金の呼びかけ及び集金を実施した。



平成29年度目標額：6,400,000円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
戸別募金	849,983	1,688	2,306,600	4,613	1,457,590	2,932	4,614,173	9,233
街頭募金			28,273	4			28,273	4
法人募金	268,000	56	495,000	107	279,000	81	1,042,000	244
学校募金			52,650	16			52,650	16
職域募金			466,600	817			466,600	817
イベント募金			31,105	2			31,105	2
その他募金	3	1	89,360	24	5	1	89,368	26
合計	1,117,986	1,745	3,469,588	5,583	1,736,595	3,014	6,324,169	10,342

## ○ 地域包括 (瀬戸内市地域包括支援センター) ※受託事業

### (1) 総合相談・支援事業

高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をできるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス・制度の利用支援、及び関係機関へのつなぎ等の支援を行った。

#### 実施項目

- ◇高齢者総合相談窓口／実態把握訪問等
- ◇地域包括支援ネットワーク構築

#### 事業実績等

《総合相談対応件数 ※延件数 ブランチ事業所分含む》

月	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	389	47	195	119	28
5月	441	33	260	127	21
6月	582	40	353	170	19
7月	498	48	287	144	19
8月	585	47	337	169	32
9月	482	46	254	161	24
10月	382	31	167	160	24
11月	444	38	229	155	22
12月	501	27	278	168	28
1月	477	18	294	138	27
2月	492	25	272	164	31
3月	405	34	216	143	12
合計	5,678	434	3,139	1,818	287

《相談内容別対応件数 ※延件数 ブランチ事業所分含む》

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
1,986	344	511	1,120	695	669	568

## (2) 権利擁護事業

さまざまな場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に実施した。

### 実施項目

- ◇高齢者虐待の防止及び対応
- ◇消費被害の防止及び対応
- ◇判断力に不安のある方や権利擁護を必要とする方への支援

### 事業実績等

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見制度活用の促進	日常生活自立支援事業の利用支援	老人福祉施設等措置支援	高齢者虐待への対応	介護保険による契約入所等の支援	消費者被害防止	その他の支援
354	0	18	186	20	5	2

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えとともに、個々の介護支援専門員等へのサポートを行った。

### 実施項目

- ◇包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備
- ◇個々の介護支援専門員等へのサポート体制整備

### 事業実績等

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数》 608件  
 《ケアマネに対する研修会の開催》 4回

## (4) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援を行った。

### 実施項目

- ◇個別地域ケア会議の実施
- ◇指定介護予防支援
- ◇介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援）
- ◇一般高齢者の介護予防活動への参加促進等

事業実績等

《個別地域ケア会議実施状況》

月	回数	内 容 等
5月	1回	<b>【検討事例】</b> 主に通所サービス利用の要支援認定者及び事業対象者の事例について、健康管理面・身体状況・社会交流・役割等を総合的に勘案し、適切なサービス利用を図っています。同時に不足する地域の社会資源等の把握も行い、通いの場づくり等の資源開発につなげています。また、年度後半からは通所サービス A 型の修了判定も実施しました。  <b>【会議構成員】</b> いきいき長寿課 保健師等（保険者として） 健康づくり推進課 管理栄養士 瀬戸内市民病院 理学療法士 岡山県薬剤師会瀬戸内支部 薬剤師 包括支援センター ケアマネジャー・3職種 生活支援コーディネーター
6月	2回	
7月	2回	
8月	2回	
9月	2回	
10月	2回	
11月	2回	
12月	2回	
1月	1回	
2月	2回	
3月	2回	

《指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況》

月	プラン作成 合計件数	予防給付 利用の件数	総合事業のみ ※利用の件数
4月	380	368	12
5月	390	371	19
6月	388	357	31
7月	388	346	42
8月	384	330	54
9月	389	318	71
10月	393	315	78
11月	379	297	82
12月	369	288	81
1月	361	282	79
2月	342	266	76
3月	339	261	78

※当該月のサービス利用が総合事業（デイ・ヘルパー）のみであった場合の件数  
 例）デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

（5）認知症施策の推進

認知症高齢者の増加が見込まれる現状に対し、各種事業を実施し適切な対応が図れるよう体制整備を行うとともに、地域で支え合うネットワークづくりを実施した。なお、事業実施にあたっては認知症地域支援推進員研修受講職員を中心に、市担当課との協働により推進した。

実施項目

- ◇啓発活動及び理解促進
- ◇当事者支援活動
- ◇ネットワークづくり他

事業実績等

《啓発・理解促進の実施状況》

・認知症サポーター養成講座

月 日	団体名等	人 数
5月31日(水)	瀬戸内市民図書館職員	11名
8月29日(火)	J A裳掛職員	10名
10月20日(金)	邑久団地ゆうこう会	37名
10月31日(火)	長船中学校2年生	117名
11月1日(水)		
11月15日(水)	一般市民向け	60名
11月22日(水)	一般市民向け	15名
12月4日(月)	鹿忍東(はつらつOB会)	15名
1月17日(水)	備前信用金庫職員	63名

・認知症サポーター フォローアップ研修

月 日	場 所	人 数
2月6日(火)	ゆめトピア長船	34名
	瀬戸内市総合福祉センター	11名

テーマ：認知症によりそう演技を学ぶ

講 師：OiBokkeShi(オイ・ボッケ・シ) 代表 菅原 直樹 氏

対象者：認知症サポーター養成講座受講済みの方

認知症の対応について関心のある方

・認知症キャラバンメイト連絡会

月 日	内 容	人 数
8月18日(金)	新キャラバン・メイト紹介 今年度の予定について 他	21名
12月19日(火)	今年度実施の認知症サポーター養成講座の紹介他	24名

・認知症サポーター劇団員 寸劇練習会

日 時	内 容	参加者数
11月6日(月)	一般向け認知症サポーター養成講座の打ち合わせ	11名

・徘徊模擬訓練 邑久町福谷地域

月 日	内容・実施地域	人 数
11月2日(木)	事前説明会 縁路香家族会メンバー対象(縁路香)	17名

11月11日(土)	徘徊模擬訓練(福谷地域)	26名 (反省会)
-----------	--------------	--------------

《当事者支援活動の実施状況》

・認知症介護家族の交流会

月 日	内 容	人 数
5月2日(火)	座談会・今年度事業の意見交換	8名
7月4日(火)	座談会	7名
9月5日(火)	施設見学『特養せとの夢』	5名
11月7日(火)	座談会	8名
1月16日(火)	座談会・徘徊対策事業紹介	12名
3月6日(火)	座談会	9名

・認知症介護家族交流事業

月 日	場 所	人 数
1月24日(水)	中央公民館 研修室(1階)	36名

テーマ：認知症介護を考えよう～道路交通法改正を通して～

内 容：講演「認知症理解、及び高齢者の自動車運転を考える」

公益社団法人 認知症の人と家族の会 岡山県支部代表 尾崎 喜規 氏

「瀬戸内市の自動車運転の現状」

岡山県瀬戸内警察署 交通課長 武田 直隆 氏

認知症に関する瀬戸内市の取り組みについて

座談会

対象者：認知症の人を介護している家族、認知症介護の経験を持つ方、

認知症に関心のある方、地域の役員(民生委員、福祉委員等)の方 他

・認知症カフェ『喫茶せとうち』

特別養護老人ホームせとうち 地域交流スペースにて開催

月 日	内 容	人 数
4月20日(木)	茶話会	66名
7月13日(木)	茶話会・ミニ講話(那須Dr.)	33名
10月13日(金)	茶話会・アコーディオン演奏	37名
1月15日(月)	おしるこ作り	10名

(6) 生活支援体制整備事業

介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、以下の業務を実施した。

実施項目

◇高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備推進

◇協議体との連携

事業実績等

《生活支援・介護予防サービスの体制整備状況》

- ・はつらつ教室（一般介護予防事業）

月 日	地区	月 日	地区
2月1日～4月24日	昭和苑	10月17日～1月9日	百田
2月20日～5月15日	本村	10月26日～2月1日	北池
4月6日～6月29日	知尾	10月26日～2月1日	水落
4月18日～7月4日	瀬戸	11月17日～2月9日	大向
4月14日～7月7日	東谷	11月27日～3月5日	油杉
6月6日～8月29日	仁生田	12月25日～4月2日	沖
6月6日～9月26日	栗利郷	1月23日～4月10日	前島
7月6日～11月16日	福岡	2月16日～5月11日	上町
7月31日～11月6日	丸山	2月26日～5月21日	西岡
9月1日～11月24日	大東	3月1日～5月22日	西部
9月6日～11月22日	福永	3月1日～5月24日	谷・端
10月16日～1月15日	大富	3月9日～6月1日	レストタウン

- ・啓発活動・体操指導等

月 日	団体名等	月 日	団体名等
5月12日	福中下ネットワーク	10月18日	西脇サロン
5月15日	八日市ふれあいサロン	10月20日	長船公会堂（体操）
5月25日	ケアマネ協会瀬戸内支部	10月28日	あじさい講座
6月 8日	西町ふれあいサロン	11月 4日	中倉（体操）
6月 8日	丸山ふれあいサロン	11月28日	永楽学園（体操）
6月16日	綾浦ひまわりサロン	12月 5日	上区サロン（体操）
6月19日	ろうあサロン（体操）	12月10日	ろうあサロン（体操）
7月13日	福山ふれあいサロン	12月13日	前島老人クラブ（体操）
7月19日	特養せとうち家族会	12月21日	邑久地区老人クラブ（体操）
7月21日	山手つばき会（体操）	1月 9日	西岡
7月24日	福永ふれあいサロン	1月11日	グラウンドゴルフ（体操）
7月26日	浜区ほほえみサロン	1月12日	山田（体操）
8月24日	DSのどか（体操指導）	1月16日	長船地区老人クラブ（体操）
9月 4日	DSすずらん（体操指導）	1月19日	山手つばき会（体操）
9月12日	DS長船荘（体操指導）	2月 6日	福里（体操）
9月18日	百田敬老会	2月21日	ゆうゆうサロン（体操）
9月20日	西脇ハッピーサロン	3月 4日	今城地区サロン（体操）
10月 1日	仁生田ふれあい交流会	3月28日	本町サロン
10月11日	商工会女性部（体操）		

※生活支援コーディネーターの業務説明

◎第1層

【市・地域包括業務との連携】

- ・総合事業の体制整備（サービスAの充実、サービスCの検討など）

◎第1層・第2層

【コーディネーターが主体的に実施する業務】

- ・地域資源の把握とまとめ
- ・はつらつ教室（体操教室）の立ち上げ、活動継続支援
- ・自立支援、介護予防についての意識啓発（サロン等での講話）

【地域包括業務との連携】

- ・総合相談→新規相談者のアセスメント
- ・個別地域ケア会議→自立支援のための目標設定についての学習

【地域福祉業務との連携】

- ・小地域ケア会議→見守り、支えあいのしくみ再構築
- ・生活支援サポーター養成、マッチング

## ○ 権利擁護（瀬戸内市権利擁護センター） ※受託事業

### 1. 権利擁護センター運営に関する事業

#### （1）権利擁護センター運營業務

重要事項の審議や権利擁護に関する困難事案の支援方針決定、虐待防止と支援ネットワーク構築を目的に各種委員会・研修会を開催した。また、市内の専門職とのネットワークを強化し、相互協力や適切な役割分担の下、成年後見・権利擁護の普及・支援体制を構築を図った。

#### ○運営委員会の開催

	日 時	内 容
第1回	5月24日(水)	正・副委員長の選任／平成28年度事業報告並びに決算報告
第2回	3月28日(水)	平成29年度市民後見人バンク登録者の推薦／平成30年度市民後見人養成の必要性の有無と必要人数／平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

#### ○支援検討委員会の開催

	日 時	内 容
第1回	4月26日(水)	正・副委員長の選任
		新規1件 ・多問題を抱える独居高齢者の支援
		継続1件 ・高齢者虐待の疑い(身体的・心理的)
臨時	5月24日(水)	新規1件 ・市長申立 ・市民後見人受任調整
第2回	6月28日(水)	新規1件 ・市長申立
		継続1件 ・高齢者虐待の疑い(身体的・心理的)
第3回	7月26日(水)	継続1件 ・高齢者虐待の疑い(身体的・経済的)
第4回	8月23日(水)	新規1件 ・市長申立
		継続1件 ・多問題を抱える独居高齢者／市長申立
第5回	9月27日(水)	新規1件 ・高齢者虐待の疑い(経済)
第6回	10月25日(水)	新規2件 ・アルコール依存のある知的障害者の支援 ・高齢者虐待の疑い(ネグレクト・心理)
		継続1件 ・高齢者虐待の疑い(経済)
第7回	11月22日(水)	新規1件 ・障害者虐待の疑い(経済)
		継続1件 ・アルコール依存のある知的障害者の支援

第8回	12月27日(水)	新規1件 継続1件	・市民後見人の追加選任 ・高齢者虐待の疑い(経済)
第9回	1月24日(水)	新規1件	・父親と共依存関係にある障害者の支援
		継続1件	・高齢者虐待の疑い(身体・心理)
第10回	2月28日(水)	新規1件	・養護老人ホーム入所高齢者の支援
臨時	3月28日(水)	経過報告	・平成29年度支援検討委員会取扱い事案

○権利擁護事例研究会の開催

	日時	内容
第1回	4月5日(水)	関係者打ち合せ
第2回	5月10日(水)	テーマの話：成年後見制度について
		・「認知症高齢者」と「理解力が乏しい身体障害の娘」世帯の支援
第3回	6月7日(水)	テーマの話：医療観察制度について
		・医療観察制度が間もなく終了する心神喪失者の地域支援
第4回	7月5日(水)	テーマの話：生活困窮者支援について
		・8050の多重債務を抱える世帯への家計相談支援と就労支援
第5回	8月2日(水)	テーマの話：市民後見人の活動について
		・発達障害が疑われる成人男性と同居人(第三者)からの相談
第6回	9月6日(水)	・多問題を抱える母親(要介護)と息子の世帯の支援
第7回	10月4日(水)	テーマの話：生活保護制度と保護世帯の支援について
		・家族から関わりを拒否される50代の知的障害者
第8回	11月1日(水)	テーマの話：経済的虐待の疑いがある場合の対応について
		・養護者(長男)とのやりとりが難しい母親と息子世帯の支援
第9回	12月6日(水)	・テーマの話：確定申告の基礎的な知識
		・篤志家の支援で生活が成り立っている、家族と疎遠な独居高齢者
第10回	1月10日(水)	・在宅生活を希望する認知症高齢者の支援
第11回	2月7日(水)	テーマの話：意思決定支援における陥りやすい罠
		・背景に難しい家族関係のある高齢者世帯の支援
第12回	3月7日(水)	・閉じこもりの障害者(独居・中年)の保佐人就任後の支援
		・平成29年度の振り返り

○高齢者権利擁護研修会〔介護サービス事業所(居宅系)〕

日時 平成29年11月10日 18:00~19:30  
 場所 瀬戸内市総合福祉センター  
 内容 「虐待が疑われる場面と発見した時の対応」  
 権利擁護アドバイザー 新名 雅樹 社会福祉士  
 参加者 37名(居宅系事業所の管理者、ケアマネ等)

○くらしの困りごと相談会

(第1回) 日時：9月30日(土) 13:30~16:00  
 場所：瀬戸内市総合福祉センター  
 相談員：地元士業(弁護士2人、司法書士4人、行政書士2人、税理士1人)  
 権利擁護アドバイザー(弁護士1人)



いきいき長寿課 1 人、地域包括支援センター2 人、権利擁護センター3 人  
相談者：31 件（来所 28 件、電話 3 件）

相談内容：相続 12、不動産 10、登記 6、障害者福祉 5、遺言・借金・税金 4、  
財産管理・成年後見・高齢者福祉 3、事故・年金 2、その他 8 ※重複あり

（第 2 回）日 時：3 月 17 日（土）14：00～16：30

場 所：ゆめトピア長船

相談員：地元士業（弁護士 2 人、司法書士 3 人、社会福祉士 1 名、行政書士 2 人、  
税理士 2 人、社会保険労務士 1 名）

権利擁護アドバイザー（弁護士 1 名・司法書士 1 名）

いきいき長寿課 1 人、地域包括支援センター 2 人、福祉課 2 人、  
スマイル 4 人、生活相談支援センター 1 人、権利擁護センター 3 人

相談者：23 件

相談内容：相続 10、不動産 4、遺言 3、登記 2、契約 2、障害者福祉 1、借金 1  
税金 1、財産管理 1、成年後見 1、年金 1、消費被害 1、その他 7  
※重複あり

#### ○権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

・実績値

※延件数

相談件数	内 訳			
	来所	電話	メール	その他
合計 465	148	580	35	229

相談内容別件数	内 訳							
	虐待	DV	成年後見 制度	介護問題	金銭問題	入所・入院 問題	消費者被 害	その他
	420	40	586	101	153	4	1	172

対応内容別件数	内 訳					
	訪 問	ケース会議	他機関取次	経過報告/付 随する相談	アドバイザー へ相談	その他
	143	132	2	845	20	147

#### （2）虐待対応業務

児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、DV 支援を対象範囲として、多問題家族、他機関・  
行政間をまたがる事例に対し、関係者との連携を深め課題解決に努め、対応方針の検討は、  
支援検討委員会にて行った。

#### ○虐待対応実績

通報件数（疑い含）	支援調整会議	訪問件数	終結件数
24	67	68	4

#### （3）成年後見業務

成年後見制度の市長申立てが必要と思われる対象者に対しての市担当課への専門的助言・  
支援を行った。担当課より依頼を受け、帳票の作成支援を行うとともに関係機関との連絡会  
等の業務を行い、高齢者等に関する成年後見制度利用に関する支援を行った。

また、成年後見制度の普及啓発・広報へ取り組んだ。

○成年後見制度利用支援実績

相談件数	支援調整会議	訪問	申立て利用実績
56	96	99	12

(4) その他市民の権利擁護に関し必要な業務

既存組織と連携し、消費被害者支援や入居・入院支援の必要な高齢者等を早期発見及び予防対応の充実を図った。

- ・施設入所で後見人を求められた際の成年後見制度申立て支援
- ・(一般)高齢者住宅財団の家賃債務保証サービスについての研修参加  
(6月14日 入居支援講演会 会場：総社市総合福祉センター)

### 3. 市民後見推進事業

(1) 市民後見推進事業

市民後見の推進事業を行い、地域での見守り支援の充実を図った。

○市民後見人養成事業

開催日	内容	備考
8月4日(金)	市民後見人養成研修事前説明会	8名申込み
8月23日(水) 9月6日(水)	選考会(書類審査・面接)	4名申込み(3名受講決定)
10月22日(日) ～12月9日(日)	岡山県 主催講座(7日間)	
1月5日(金) ～2月9日(金)	瀬戸内市 主催講座(3日間)	見学実習、同行訪問、講義実習
2月28日(水) 3月7日(水)	市民後見人バンク登録意向確認面接	3名バンク登録意向確認
3月28日(水)	市へバンク登録適任者を推薦	3名推薦

○市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

回数	開催日時	内容	備考
第1回	4月20日(木)	情報交換会	7名出席
第2回	6月15日(木)	講義 「成年後見制度と意思決定支援のあり方」 (講師：竹内弁護士)	7名出席
第3回	8月24日(木)	施設見学 ・旭川荘療養・医療センターの見学 ・NPO法人ゆずり葉の会(家族会)との意見交換	5名出席
第4回	10月19日(木)	事例発表と情報交換会 ・死後事務を経験した市民後見人から	4名出席
第5回	1月17日(水)	総社市市民後見人と交流会 ・総社市の取り組み状況 〃の市民後見人から活動報告	4名出席
第6回	2月15日(木)	情報交換会	4名出席

○市民後見人普及セミナー

日時 平成30年3月17日 13:15～15:15

場所 ゆめトピア長船

内容 講義「事例で分かる成年後見  
認知症になった波平さん ～契約社会と成年後見制度～」

## ○ 生活相談 (瀬戸内市生活相談支援センター) ※受託事業

### 1. 自立相談支援事業

#### (1) 自立相談支援業務

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者支援の制度化に寄与することを目的に業務を行った。

#### ■ 新規受付等件数 (自立相談支援) 【必須事業】

年度	新規件数	終結件数	継続件数
平成 29 年度	94 7.8【月平均(件)】	67 71.3%	27 28.7%
平成 28 年度	95 7.9【月平均(件)】	41 43.2%	54 56.8%

### 2. 家計相談支援事業

#### (1) 家計相談支援業務

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されることを目的に業務を行った。

#### ■ 家計相談支援者数 【※任意事業】

年度	新規件数	終結件数	継続件数
平成 29 年度	23	18 78.3%	5 21.7%
	※ 自立相談支援対象者 (継続件数) における 家計相談支援対象者の割合		18.5%
平成 28 年度	14	5 35.7%	9 64.3%
	※ 自立相談支援対象者 (継続件数) における 家計相談支援対象者の割合		16.7%

■相談の経緯について

年度	本人	家族	近所知人	民生委員	福祉委員	地域包括	権利擁護	ケアマネ
平成 29 年度	21	10	2	1	0	5	1	1
	22.3%	10.6%	2.1%	1.1%	0.0%	5.3%	1.1%	1.1%
	居宅事業所	スマイル	障害サービス	行政機関	医療機関	警察	その他	
	0	4	0	35	0	0	14	
	0.0%	4.3%	0.0%	37.2%	0.0%	0.0%	14.9%	
平成 28 年度	本人	家族	近所知人	民生委員	福祉委員	地域包括	権利擁護	ケアマネ
	19	10	6	0	0	2	4	2
	20.0%	10.5%	6.3%	0.0%	0.0%	2.1%	4.2%	2.1%
	居宅事業所	スマイル	障害サービス	行政機関	医療機関	警察	その他	
	0	4	0	40	0	0	8	
0.0%	4.2%	0.0%	42.1%	0.0%	0.0%	8.4%		

■相談内容について

年度	病気や健康、 障害	家賃やローン 支払い	仕事探し、 就職	家族との関係	ひきこもり・ 不登校	住まいに ついて	税金や公共 料金等支払い	仕事上の不安 やトラブル
平成 29 年度	1	0	12	1	4	1	0	1
	1.1%	0.0%	12.9%	1.1%	4.3%	1.1%	0.0%	1.1%
	子育てのこと	DV・虐待	収入・生活費	債務	地域との関係	介護	食べるものがない	その他
	0	1	35	4	0	1	6	26
	0.0%	1.1%	37.6%	4.3%	0.0%	1.1%	6.5%	28.0%
平成 28 年度	病気や健康、 障害	家賃やローン 支払い	仕事探し、 就職	家族との関係	ひきこもり・ 不登校	住まいに ついて	税金や公共 料金等支払い	仕事上の不安 やトラブル
	3	0	17	2	7	3	1	0
	3.2%	0.0%	17.9%	2.1%	7.4%	3.2%	1.1%	0.0%
	子育てのこと	DV・虐待	収入・生活費	債務	地域との関係	介護	食べるものがない	その他
	1	1	29	6	0	0	1	24
1.1%	1.1%	30.5%	6.3%	0.0%	0.0%	1.1%	25.3%	

■相談対象者の年齢について

年度	平成 29 年度	平成 28 年度
最高	84 歳	85 歳
最低	21 歳	15 歳
平均	48.1 歳	49.9 歳

■相談者の男女比について

年度	男	女
平成 29 年度	51 人	41 人
	55.4%	44.6%
平成 28 年度	53 人	39 人
	57.6%	42.4%

■支援内容・回数について

年度	件数 (回)	支援内訳 (回)					
		訪 問	電 話	来 所	メー ル	担当者 会議等	支援調整 会 議
平成 29 年度	2,697 225 (月平均)	455 16.9%	858 31.8%	543 20.1%	52 1.9%	776 28.9%	13 0.5%
平成 28 年度	2,745 250 (月平均)	499 18.2%	912 33.2%	421 15.3%	231 8.4%	673 24.5%	9 0.3%

### 3. 地域支援ネットワークの推進等その他事業に関連する事項

(1) 当事者（相談者）同士の交流の場づくりの検討

生活困窮者自立支援法（施行）の大きな目的でもある「支援を通じた地域づくり」を具現化する取り組みとして、引きこもり等様々な悩みを抱える当センターの支援対象者を対象とし、支援対象者同士が同じ立場で悩みを語り合うこと、気分転換を図ること等を目的とした、【びあ座談会】という話し合いの場を企画した。

回数	月 日	内 容	参加者数
1	12 月 13 日	自己紹介、当センターと関わりはじめたきっかけの話等 参加者同士の交流	3 名
2	3 月 2 日	自己紹介、自分の仕事内容、自宅での過ごし方の話等 参加者同士の交流	4 名